

令和5年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

商工労働総務課

1 施設の概要等

施設名	広島県立広島産業会館		
所在地	広島市南区比治山本町12-18		
設置目的	産業及び地域の振興に資する		
施設・設備	展示場(9室)、会議室(1室)、控室等(13室)、駐車場(平日 385台/土日祝日 452台)等		
指定管理者	5期目	R 3.4.1~R 8.3.31	(公財) ひろしま産業振興機構
	4期目	H28.4.1~R 3.3.31	(公財) ひろしま産業振興機構
	3期目	H23.4.1~H28.3.31	(公財) ひろしま産業振興機構
	2期目	H20.4.1~H23.3.31	(公財) ひろしま産業振興機構
	1期目	H17.4.1~H20.3.31	(財) ひろしま産業振興機構

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	面積稼働率	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	5期	R5	40.0%	42.9%	3.8ポイント
R4		28.0%	39.1%	11.9ポイント	11.1ポイント (139.6%)
R3		22.0%	27.2%	△18.8ポイント	5.2ポイント (123.6%)
	4期平均 H28~R2	49.8%	46.0%	△0.8ポイント	△3.8ポイント (92.4%)
	3期平均 H23~H27	45.0%	46.8%	6.5ポイント	1.8ポイント (104.0%)
	2期平均 H20~H22	43.7%	40.3%	△6.4ポイント	△3.4ポイント (92.2%)
	1期平均 H17~H19	—	46.7%	5.7ポイント	—
	H16 (導入前)	—	41.0%	—	—
増減理由	コロナ禍で閉鎖していた施設の営業再開に伴うキャンセルがあったものの、国家試験会場など新規催事利用が増えたこと等により、目標を達成することができた。				

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	調査実施内容	1. 催事主催者アンケート (利用満足度等調査)
2. 利用者アンケート (催事内容等に関する調査)		1,001件回収 (1,000件の目標を達成)
【主な意見】		【その対応状況】
1. ① スタッフ対応 満足 91.9% (R4 90.3%) ② 施設・設備 満足 74.4%(R4 67.0%) ③ 開催目的の成果 満足 52.3%(R4 68.0%) ④ 今後の利用意向 したい 93.0%(R4 92.2%) 2. 来場者が希望する催事内容 【第1位】 消費者向け展示販売、【第2位】 趣味・娯楽、 【第3位】 子供向けイベント		①懇切・丁寧な対応を今後とも継続し、リピーターを確保。 ②さらなる満足度向上に向け、館内ネットワークを更新。 ③・④アフターコロナで、催事者マインドが回復傾向にある一方で、集客数の伸び悩みもあることから、情報提供手段等を強化。 今後の集客数増に繋げる営業活動や自主事業の検討材料とする。

4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 利用状況報告書
	日報 (必要随時)	○ 必要時に随時電話及びメールで報告
管理運営会議 (随時)	【指定管理者の意見】 本館・東展示館は築50年以上、西展示館は築30年以上を経過し、老朽化が著しいことから、修繕の規模や目的、性質により県との役割分担を明確にした上で対応する。	
現地調査 (随時)	【県の対応】 指定管理者と連携し、長期保全計画による修繕及び利用者ニーズを踏まえた設備等の改修を進めていく。	

5 県委託料の状況

(単位：千円)

県委託料 (決算額)	年度		金額	対前年度増減	料金 収入 (決算額)	年度		金額	対前年度増減	
	5期	R5	5,018	△5,207		料金 収入 (決算額)	5期	R5	289,361	24,326
R4		10,225	10,225	R4	265,035			83,395		
R3		—	△11,129	R3	181,640			△117,595		
4期平均 H28～R2		10,129	11,129	4期平均 H28～R2				299,235	△14,382	
3期平均 H23～H27		—	—	3期平均 H23～H27				313,617	57,552	
2期平均 H20～H22		—	—	2期平均 H20～H22				256,065	△43,297	
1期平均 H17～H19		—	—	1期平均 H17～H19				299,362	62,242	
H16 (導入前)		—	—	H16 (導入前)		237,120	—			

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項 目		R5 決算額	R4 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	5,018	10,225	△5,207	電気料金単価の減による委託料の減
		料金収入	289,361	265,035	24,326	利用料金制(※1) 新規催事利用による増
		その他収入	5,171	2,689	2,482	修繕費補償金による増
		計(A)	299,550	277,949	21,601	
	支出	人件費	37,053	30,109	6,944	プロパー職員1名採用による増
		光熱水費	33,558	33,122	436	電気・水道使用量の増
		設備等保守点検費	8,414	8,494	△81	
		清掃・警備費等	69,336	69,034	302	人件費上昇に伴う委託料の増
		施設維持修繕費	16,236	13,342	2,894	工事箇所が増
		事務局費	35,166	24,748	10,418	HPリニューアルに伴う事務局費の増
その他		13,902	11,940	1,963	消費税の増	
計(B)	213,665	190,789	22,876			
収支①(A-B)	85,885	87,160	△1,275			
自主事業 (※2)	収入(C)	—	—	—		
	支出(D)	—	—	—		
	収支②(C-D)	—	—	—		
合計収支(①+②)		85,885	87,160	△1,275	変動納付金 85,885 千円	

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。
指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目	指定管理者 (事業計画、主な取組、新たな取組など)	県の評価
<p>施設の効用発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施設の設置目的に沿った業務実績 ○業務の実施による、県民サービスの向上 ○業務の実施による、施設の利用促進 ○施設の維持管理 	<p>利用者に効果的に情報を届けられるようHPリニューアルを実施した。</p> <p>広島市及びその近郊を放送エリアとするコミュニティFM放送局で2か月に一度、催事主催者等の参加によるイベントのPRを行うとともに、毎月発行している地域の生活情報を提供するフリーペーパーを活用し、広島産業会館のイベントをPRした。</p> <p>「広島BOX～メイド・インひろしまギャラリー」や「C-LOUNGE デザインギャラリー」において、県内製品等の展示等を行うとともに、「メッセひろしまギャラリー」において広島で活躍するクリエイターや企業等の新たな成功事例等を紹介した。</p> <p>本・東館において漏水が発生し、県とともに直ちに対応した。</p>	<p>利用者の利用促進につながるリニューアルを進めることで、満足度の向上に努めている。</p> <p>マスコミとの連携によりイベントの効果的なPRを行う等、利用促進に積極的に取り組んでいる。</p>
<p>管理の人的基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> ○組織体制の見直し ○効率的な業務運営 ○収支の適正 	<p>経験豊富なプロパー職員の1名増により、営業活動、管理機能に戦力アップが図れた。</p> <p>不測の事態に備え、原則として館長もしくは課長が常駐する執行体制や、職員間の緊急連絡網を構築している。</p> <p>HPリニューアルや館内ネットワークの更新など例年にはない支出があったが、積極的な営業活動で新規催事利用の増加を図り、収益確保に努めた。</p>	<p>HPリニューアルなど例年にはない支出があったが、新規催事利用の増加に努めることにより、収支の適正を図っている。</p>
<p>総括</p>	<p>新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことに伴い、コロナ関連の利用が減ったものの、積極的な営業活動による新規開拓に努めた結果、展示場利用延床面積は774,772 m²、面積稼働率は42.9%となり、目標の40.0%を上回った。それに伴い、収支は黒字となり、85,889千円を県に納付することができた。</p>	<p>コロナ関連での利用が減ったものの、積極的な営業活動による新規開拓の結果、面積稼働率は目標値を達成しており、収支は黒字であった。利用促進に向けて適切な運営を行っている。</p>

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
<p>短期的な対応 (令和6年度)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 燃料費の高騰による光熱水費の増加に対しては、国・県の方針を踏まえつつ、収支予測を行った上で、適切に対応する ○ 老朽化した施設の機能維持や修繕など、利用者の要望が多い設備については、収支状況を見極めながら、適宜・適切な更新・整備を行うことにより、利用者の満足度の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 燃料費の高騰による光熱水費の増加については、国の状況を注視しつつ、指定管理者と県で連携し、適切に対応する。 ○ 利用促進及び計画的かつ効果的な修繕に向けて県と指定管理者で連携して進めていく。
<p>中期的な対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全館において老朽化が進む中で、令和5年度に漏水が発生したことを踏まえ、危険個所の洗い出しを行う。 ○ 展示会やイベント等を活用した企業のマインドは回復傾向にあるものの、全盛期（H30）の81%程度に止まっていることから、継続的な営業活動を行う必要がある。 ○ リピート率の高い展示会やイベント等の主催者に対して、訴求力の高い特別料金（減免）制度の検討をするなど、安定した収入の確保に向けて取り組む。 ○ 顧客への訪問営業や休眠しているリピーターの掘り起こし、閑散期や稼働率の低い会場の利用促進策の検討する。 ○ DXの成功事例の紹介など、地域企業の課題解決に向けたタイムリーなテーマで開催される展示会・セミナー等の誘致を検討する。 	<p>利用者の利便性、施設の魅力向上により展示場の利用促進を図るため、指定管理者の取り組みをサポートしていく。</p>